

資料1

2023年度 連盟活動総括

- ・2023年度は主催する大会等については全て滞りなく実施することができた。
- ・5月に新型コロナウイルス感染症が感染症上の5類に移行されたが、大会運営上は『コロナ感染防止対策ガイドライン及び競技運営手順』を念頭に置いて実施した。参加チームにおいても試合前の消毒等の措置に積極的に協力いただき感謝している。
- ・運営委員会等の会議をオンラインを基本とした。また、アクティブリーダー研修会会場も学校施設を借用することで連盟の経費削減に努めた。
- ・連盟規約・規定の改正に取り組んだ。加盟チーム数の増加を企図した加盟の複線化(N加盟・P加盟)を廃止し一本化、JVAMRS個人登録の取り扱いについても検討を行った。さらに連盟理事の選出方法についても実態に沿うものとした。チーム代表委員会に提案し審議頂く。
- ・活性化プロジェクトで提言された魅力ある取組」として、新たに企業体育館を借用し、役員研修にてコンセプトや具体的内容等について協議の上「誰でも参加できる楽しい大会、「ソ・コラボフェスティバルin大阪」大会を実施した。未加盟チームのみなさんも多く参加頂けたが、想定以上の参加申し込みがあり、締め切りを早めたためご参加いただけなかったチームが出たことをお詫びする。

1 主催大会の工夫・活性化(競技部)

- ・全国/近畿フェスティバル予選会において、参加資格の拡大を行うと共に近隣市町村連盟・協会の協力を得て大会不成立となる種別の交流試合を行った。
- ・ソ・コラボフェスティバルin大阪では、参加のみなさんに少しでも多くの試合を楽しんでいただくことを目的に、初めての時間制による大会運営となったが、参加のみなさんの協力により混乱することなく運営できた。

2 審判技術の向上(審判部)

- ・会場の都合で座学となった伝達講習会における審判実技講習を、アクティブリーダー研修会開催時に実施し改正点などを解説した。
- ・大会開会式でのワンポイントレッスンは、開会式時間短縮のため実施できなかった。
- ・HPリニューアルに伴い、日本連盟からの競技規則(ルールブック)改定情報等掲載し、情報周知に努めた。

3 情報提供と連盟への加盟推進(総務部)

- ・本年6月に連盟ホームページを全面リニューアルし、大会結果(大会風景)に加え、日本連盟や各部からの情報を分かり易くタイムリーに掲載した。
- ・新たに大会案内ビラを作成し役員や大会を通じて、大阪府市町村ソフトバレーボール連盟および大会を開催する体育館に配付し大会への参加を呼びかけた。その結果、新規大会のソ・コラボフェスティバルでは未加盟チームから多くの参加をいただくことができた。
- ・JVAMRS等を通じて過去および現在の加盟チームおよび大阪府下ソフトバレー愛好チームに新規の加盟登録の働きかけを行ったが、加盟13チーム(1チーム減)および準加盟3チームで登録チームの増加には至らなかった。

4 加盟チームならびに役員の資質向上(指導普及部)

- ・新型コロナウイルス感染症の5類移行になったが、大会運営については感染防止の協力を参加チームに理解と協力を要請した。
- ・アクティブリーダー研修会(更新研修)を新たな試みで枚方市立第三中学校の体育館にて開催した。実施するにあたり当該校の校長には施設使用に係る事務、当日の準備等にもご尽力いただいた。当日、大雨のコンディションであったが参加者は熱心に研修に参加されていた。研修会場を前年の会議室から体育館に戻したことにより、実技研修も可能となった。内容面でも枚方市女性消防団による応急手当講習、グループディスカッションではアクティブリーダーとして2軸(時間軸・人数軸)による取組について協議し検討内容は参加者にフェードバックした。

5 公益財団法人日本バレーボール協会『登録管理システム』の周知徹底(総務部)

- ・日本連盟情報・加盟登録・大会・講習会・研修会等の情報が容易にチーム代表者に配信できる(公財)日本バレーボール協会登録管理システム(JVAMRS)の利便性の周知に努めた。
- ・加盟チーム代表者交替(2件)に対応を行った。